



平成23年 4月28日
豊玉南小学校だより

とよみなみ

平成23年度 5月号

考えを深め

表現できる子供

校長 植村 茂樹

東日本大震災で被災された方が、今も苦しい生活を強いられている中、平成23年度も一月が過ぎようとしています。未曾有の大災害は、東京に住む私たちの生活にも大きな影響を与え、改めて人と人とのつながり、絆の大切さを思い知らされました。子供たちも、この経験から、人は社会とつながって生きていることを強く感じたと思います。

今年度、本校では生活科・社会科を研究教科として思考力・判断力・表現力の育成に力を入れていきます。社会の一員としての自覚をもち、社会に貢献するために何を実践したらよいか判断できる子供を育てるためです。

先般、津波で全てを失った子供たちに、卒業する子供たちのランドセルを集め、寄贈した小学生が話題となりました。ご存知の方もいらっしゃると思います。この子供たちは人のために自分に何ができるかを考えて実践した素晴らしい子供たちです。本校でも卒業した六年生が校内に募金を呼びかけ、被災者への救援活動を行いました。人に働きかけて善意の行動をとることは簡単なようで難しいことです。全国でこうした行動を起こした小学生が大勢いたことは、本当に嬉しい限りです。

先日も、低学年の子供がこんなことを話してくれました。その子は、エコバックで買い物をするとスーパーの袋代が返金され、お得な上に環境にも良いというのです。さらに、石油資源の無駄づかいにも触れ、エコバック使用を進めることがこれからの社会に大切なことまで話してくれました。社会への関心の深さと、低学年とは思えない話について引き込まれ、感心して聞いてしまいました。母親と買い物をしながら随分と学んだようです。

社会を知り、社会が分かれば、社会の中で自分がどう生きていけばよいか考え、実践できる子供に育ちます。知るため、分かるためには言葉を通して理解する力、読解力が必要です。自分の考えを深めるには、他者とのコミュニケーションが不可欠で、表現力も必要となります。本校の研究は、国語科を基礎として生活科・社会科の中で問題を考え、解決する学習を通して社会的な見方や考え方を深める子供を育てるところにあります。

今年度より2年間、練馬区教育課題研究校として研究を進めますが、7月から始まる研究授業は他校の先生や本校の保護者、地域の皆様にも公開します。事前に案内いたしますのでご覧いただき、子供たちの成長を感じ取っていただければと思います。1月19日は今年度の成果と課題を報告する予定で、全学級公開授業とし、研究発表会を行います。

